

令和5年度末で経過措置を終了する介護報酬の改定事項について(一覧)

令和3年度介護報酬改定において、以下に掲げる改定事項については、令和5年度末(令和6年3月31日)までに経過措置が終了します。(介護保険最新情報 Vol.1174より地域密着型サービスに該当するもののみ抜粋して掲載しています。)

1 感染症対策の強化

対象:全サービス

- 感染症の発生及びまん延等に関する取組の徹底を求める観点から以下の内容を義務化。
- ・施設系サービスについて、現行の委員会の開催、指針の整備、研修の実施等に加え、訓練(シミュレーション)の実施。
 - ・その他サービスについて、委員会の開催、指針の整備、研修の実施、訓練(シミュレーション)の実施等。

2 業務継続に向けた取組の強化

対象:全サービス

- 感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築する観点から以下の内容を義務化。
- ・業務継続に向けた計画等の策定、研修の実施、訓練(シミュレーション)の実施等。

⑨:業務継続計画を策定していない場合は業務継続計画未策定減算

(定期巡回・随時対応型訪問介護看護は令和7年3月31日までは猶予。地域密着通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型介護老人福祉施設は感染症の予防及びまん延の防止のための指針及び非常災害に関する具体的計画を策定している場合は、令和7年3月31日まで猶予。ただし義務となっているため速やかに策定すること。)

3 認知症介護基礎研修の受講の義務付け

対象:全サービス

- 介護に直接携わる職員のうち、医療・福祉関係の資格を有さない者について、認知症介護にかかる基礎的な研修を受講させるために必要な措置を講じること。

4 高齢者虐待防止の推進	対象:全サービス
○利用者の人権の擁護、虐待の防止等の観点から以下の内容を義務化。 ・虐待の発生又はその再発を防止するための委員会の開催、指針の整備、研修の実施、担当者を定めること。	
㊦:委員会を定期的に開催していない、指針を整備していない、年一回以上の研修を実施していない、担当者を置いていない場合は高齢者虐待防止措置未実施減算	
5 施設系サービスにおける口腔衛生管理の強化	対象:施設系サービス
○口腔衛生の管理体制を整備し、各入所者の状態に応じた口腔衛生の管理を計画的に行うこと。なお、「計画的に」とは、歯科医師又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、介護職員に対する口腔衛生の管理に係る 技術的助言及び指導を年 2 回以上実施することとする。	
6 施設系サービスにおける栄養ケア・マネジメントの充実	対象:施設系サービス
○栄養マネジメント加算の要件を包括化することを踏まえ、入所者の栄養状態の維持及び改善を図り、自立した日常生活を営むことができるよう、各入所者の状態に応じた栄養管理を計画的に行うこと。	